

2018母と女性教職員の会

全国集会

8月1日(水)2日(木)の2日間、板橋区立文化会館、日本教育会館・連合会館で「母と女性教職員の会全国集会」が行われました。今年のテーマは「子どもたちに平和な未来を 一護ろう 憲法」で、福井県からは女性教職員7人、保護者6人、県教組本部2人の計15人が参加しました。



1日目 全体会

講演「平和を作っていきましょう

9条と24条のつかいかた」

学習院大学大学院教授 青井未帆さん

公演「あなたにあえてよかった」

シンガーソングライター う～みさん

勝山中部中学校の保護者である天立智恵さんの開会挨拶で、全国集会が始まりました。青井さんの講演では、平和と自由をつくる手がかりとしての日本国憲法の大切さを改めて感じさせられました。う～みさんの歌とトークには、参加者一同感動の涙を流しました。



開会挨拶をする
天立さん

2日目 分科会

15の分科会が日本教育会館と連合会館の2会場で行われました。

第15分科会「母と女性教職員が手を結ぶ運動」で、坂井支部女性部長の甲斐雅代さんと丹生支部女性部長の荒木淳子さんが記録を担当しました。また、第5分科会「性と生」で天立さんが、第14分科会「女性労働」で高間県女性部長が運営委員を担当しました。



【参加者の感想】

- ・他県の方々との交流の機会はめったにないので、大変貴重でした。地域性のことや細かい家庭環境についてディスカッションする場が多く、本当によかったと思いました。(保護者)
- ・仲間づくりの大切さ、保護者とのつながりの大切さを改めて感じました。「いろんな子がいるんな生き方がある」ことを念頭に、2学期から担任としてがんばる力をもらいました。(教職員)
- ・日本は平和でありこの平和はいつまでも続くものだと思っていた私ですが、そうではなくもっと真剣に考えなくてはいけないことだと分かりました。(教職員)